

横浜市立 上菅田特別支援学校 小・中・高 部 令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針

学校教育目標	自分らしく豊かに学び 輝き 生きる力を育てます ○自らの思いや考えを深く豊かに表現する力を育てます(知) ○自分を大切にし、人を思いやるやさしさを育てます(徳) ○健康で心豊かに安全に生活する力を育てます(体) ○地域・社会の一員として生きる力を育てます(公) ○様々な人と共に生き、未来をつくる力を育てます(開)							
	学校概要	創立 48 周年	学校長 笹平 みどり	副校長 松山 万里子	中野 嘉樹	2 学期制		
	幼児・児童・生徒数:	153 人	幼稚部:	人	小学部: 45 人	中学部: 44 人	高等部本科: 64 人	専攻科: 人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> 〈かかわる力〉 〈みつめる力〉 〈とりくむ力〉 〈くらす力〉

育成を目指す資質・能力を踏まえた 「(12)年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>自らの思いをもち 自らの思いを伝え 自らの良さを発揮できる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ「4つの資質・能力の育成を目指す授業改善」を全職員が意識して取り組む。 ・キャリアノートを活用し、自分の思いや自分の良さを残すように全職員で取り組む。

中期取組目標 <ul style="list-style-type: none"> ○やさしさとながりを大切にし、豊かな学びを充実させます。 <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重し、本人・保護者のニーズに応えた教育を進めます。 ・地域社会と連携協働した教育を進めます。 ・専門性の向上と優れた実践のために人材育成を進めます。 ○思いを表現し、未来に向かって伸び伸びとした成長を促します。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人にあわせたコミュニケーション手段を使い表現する力を育てます。 ・一人一人のキャリア発達を促す教育を推進し、自己有用感、自己肯定感を育てます。 ・教職員がロールモデルとなり、自立と社会参加に必要な力を育てます。
--

重点取組分野	具体的取組
知 個に応じた指導 担当 全校務部会・教育課程委員会	①2つのアセスメントツールを適切に活用し、新学習指導要領に基づく個別の指導計画を作成し、授業内容、指導方法、教材等の改善を行う。②自立活動部と各学部が連携し、自立活動6区分27項目の指導内容・方法の事例研究および授業改善を実施する。③類型別学習を定着させ指導と評価の一体化を目指す。
徳 人権教育 担当 児童生徒指導係・学習支援係	①ICT機器、言葉、表情、動作等、一人一人が自分らしいコミュニケーション手段を使い、自分の思いや願いを安心して表出のできるようにする。②体験的活動や交流を通して地域や人とつながる機会を増やす。③道徳、道徳科の授業のあり方について研究を推進する。
体 健康教育・食教育 担当 保健安全指導部	①感染症等についての関心をもち、健康への意識を高める。②自分の身体の使い方や、遊び方を自立活動の学習や日常生活に取り入れ、自らの健康を意識できるように授業改善に取り組む。③給食を通して食の大切さについて考え、食べることへの関心をもつ活動を増やす。
公開 キャリア教育 担当 支援連携部・教育課程委員会	①キャリア教育の視点から資質・能力の育成を意識した授業改善に取り組む。②キャリアノートを保護者や関係者とも連携しより充実したものにしていく。③全学部で卒業後の進路について共有し、系統的、計画的な進路指導を行う。④卒業後の姿を具体的に描けるように保護者、教員の研修会を充実させる。
いじめへの対応 担当 人権教育推進委員会	①全教職員がいじめ防止への理解を高め人権感覚を磨くための研修会を実施する。②体罰や不適切な指導、ハラスメント防止のために、児童生徒や教職員との面談を随時実施する。③児童生徒の人権が尊重されているか学校評価アンケート等による点検を行う。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 全校務部会・教育課程委員会	①主幹会、学部連携会議を充実させ、教職員が抱える課題を早期発見できるよう報・連・相の体制を整える。②積極的に校外の研修に参加できる体制を構築する。③働き方改革の4つの指標の達成を目指す。④情報保障委員会を立ち上げ誰もが働きやすい職場環境を構築する。
GIGAスクール構想 担当 全校務部会・教育課程委員会	①上菅田GIGAスクール構想に基づく、タブレット端末等、ICT機器、クラウドを活用した教育内活動を充実する。②学びをとめないためのオンライン活用を推進する。③肢体不自由校における遠隔授業の研究を推進する。
センター的機能の取組 担当 支援連携部	①特別支援教育コーディネーター、児童生徒指導係を中心に校内外の支援・相談機能を充実させる。②コロナ禍にあるが関係諸機関、学生などの研修を受け入れ、共生社会における本校の役割について積極的に発信する。
地域学校運営協働本部 担当 主幹会	①学校運営協議会委員による学校運営への参画及び協力のために学校からの情報発信を積極的に行う。②地域社会とつながるよう、行事への協力や授業への参加等を積極的に呼びかける。
担当	